

～サポートファイルの記入にあたって（ご家族の方へ）～

1 サポートファイルの構成

このサポートファイルは次のような構成になっています。

ファイル名		ファイルの内容
①	サポートファイルの取扱説明書	作成目的, 取扱説明, 個人情報保護等
②	フェイスファイル	緊急性の高い情報, 支援の際の基本情報等
③	各期の ファイル	乳 幼 児 期 学 齢 期 青年成人期 生活シート（基本のファイル）, 付録のファイル

- サポートファイルは、場所や状況、支援の目的に応じて使えるよう、目的ごとのシートを用意しています。必要なシートを選んで提示することで、支援に必要な情報を効率的に提供することができます。
- 保護者の方はサポートファイルを使ってみようと思ったときから、気負わずに書き始めてください。（サポートファイルの使用は義務ではありません。）まずは、フェイスファイルと現在のご本人の生活シート（基本のファイル）を作成してみてください。
- サポートファイルの様式、記入欄は必要と思われる事項を想定し作成しておりますが、ご家族の方が必要と感じる箇所だけ記入されても結構です。
- フェイスファイルは、緊急性の高い情報・支援の際の基本的情報を記入します。不明な点は、支援者に協力してもらいながら書いてください。
- 成長とともに記入した内容を書き加えたり、書き直したりすることが必要となりますが、その時には関係機関の担当者などと一緒にご本人の現状を確かめながら書いてください。
 - 乳幼児期・学齢期の場合 … 例えば、年度初めに療育の支援者や担任の先生と。
 - 成人の場合…障がい福祉サービスの更新時に相談支援専門員と。必要に応じて障がい福祉サービス事業所の担当の方などと。
- スペースが足りない時は、追加してください。ほかにも支援に必要な情報（個別支援計画、個別の教育支援計画・写真など）を一緒に保管できます。
- 古いページは、後で貴重な成長の記録となりますので、保存しておきましょう。
- 記入に当たっては、「××できません」とするより「××はできませんが〇〇な支援があればできます」という書き方をしてもらおうほうが支援者は助かります。
- 鉛筆で記入して、変更等があれば書き換え・書き加えをしてください。
- フェイスファイル、学齢期ファイル、青年成人期ファイルの最後に「対話の始まりのページ」を設けています。特に、学齢期のお子さんの将来の夢（めざしたい姿）を担当の先生と話し合いながら、今取り組みたい内容を相談されてはいかがでしょうか？